



実践クラブ  
馬渡 光春 議員

## 問 自治会・町内会の運営について

**Q** 住民が自らコミュニケーションを図り「住みよい地域づくり」を目指す自主組織だが、①位置づけ、②現在の状況は。

**A** ①住民の中心的組織で行政情報の伝達や地域行事など「安心安全なまちづくり」に不可欠な地縁団体。  
②加入率は18年度80・7%、本年度70・3%と低下し、県内でも低い状況。5月を加入強化月間として加入促進をしている。

**Q** ①運営支援の推移、②自治会費等の状況、③自治公民館管理や防犯灯維持費等の補助加算の考えは。

**A** ①合併後、段階的に調整し現在は均等割2万5千円、世帯割1200円。運営補助を実施している県内7市の年間予算は1千万円～8千万円②市内227団体の平均は月675円。③加算支援は財政的に困難な状況。

## 問 学校施設の改善について

**Q** 納税報奨金を運営費に充当している自治会があるが、①制度廃止の見通しと、②これに変わる財政支援は。

**A** ①報奨金廃止を1年間延期して30年度に予定。②新たな財政支援は厳しい。

**Q** 非構造部材の安全対策における、①年次計画と、②現状は。

**A** ①危険性の高い所から計画。②文科省のチェックリストで目視点検を実施した。

**Q** 国の財政支援はあるのか。

**A** 過疎債や起債等を活用。

**Q** 学校の洋式便器への改善について、本県33%、全国43・3%と進んでいるが、①本市の現状と、②今後の計画は。

**A** ①全715基のうち洋式は184基で、洋式化率は25・7%。②27年度から10年間で50%とする計画で、年間約20基を整備して37年度までには360基を洋式化したい。

# 議会を傍聴してみませんか。

次の定例会は3月2日開会を予定しております。

※市議会の本会議は自由に傍聴することができます。